

みんなでやろう！トランプ麻雀

全豊中麻雀連盟「ていうかい啼鶺会」会長
福崎かずたろう

マーじゃんおもしろそうなんだけどなあ。ルールを覚えるのが大変そうだなあ。何かダーティーなイメージがあるしなあ。場所と人数を確保するのに大変そうやし。……なんてことで素晴らしいマーじゃんワールドに今一步踏み込めない人も多いですな。そこで、今回、そんなみなさんのために特別に開発されたトランプマーじゃんを紹介しよう。

目的は

7枚のカードでペア1つとトリオを2つ作る。

ペアとなる2枚は、同じ数字のカード

トリオとなる3枚は、同じ数字のカードか、1～9のうち連続する3枚
つまり下のような組み合わせを作れば上がり（マーじゃんでは和了と書く）だ。



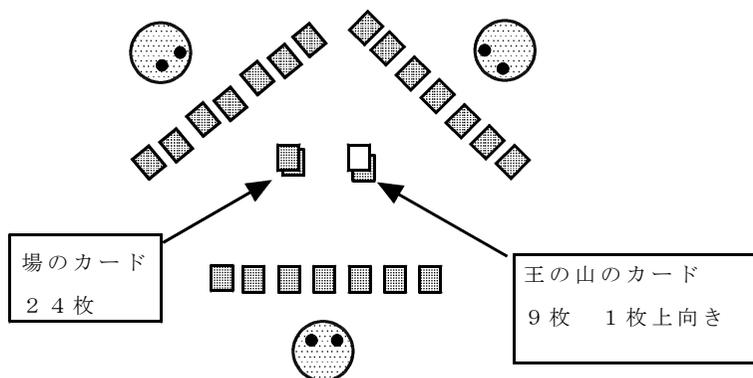
人数枚数使うカード

人数は3人が適当。

カードは **Joker** 2枚を含めて54枚すべて使う。

最初、一人に7枚ずつ配る。また9枚を別の場所（これを王の山という）へ。
残り（24枚）は中央へ。

王の山の一番上のカードを表に向ける（これをドラ表示カードと呼ぶ）。



基本的なスタイルは

1つのゲームは……、
場にある24枚を順番に1枚ずつ取っていきます。
(はじめは親が取り、親が捨てると右隣の子が取り、子が捨てると右隣の子が……
また親に戻り……と反時計まわりにカードを取っていきます。場には24枚ありますから、最後まで行くと8回ずつ取れるわけですね。)

1ペア2トリオの上がりの形になればゲーム終了(これをツモ上がりという)。
上がってなければ不要なカードを自分の前に見えるように捨てていく。
他人が捨てたカードで上がりの形になればゲーム終了(これをロン上がりという)。

親が上がれば親を続ける。子が上がれば親の権利は親の右隣に移る。
だれも上がれずに終わったとき(流局という)、親があと1枚で上がれるという形(テンパイ)になっていないときも親の権利は親の右隣に移る。
親が変わっていき3巡するか、誰かの点数が0点になると試合終了です。

点数は

マッチ棒でも良いですが、小銭を使った方が簡単です(イメージ良くないけど)。
ひとりあたり、1円玉5枚、5円玉2枚、10円玉2枚もちます。
1円が1点です。つまり35点ずつ持っているわけですね。
試合終了時点で、トップの人以外は、40点から何点マイナスかを申告し、その合算した数字(絶対値)がトップの人の得点となります。

自風と場風

マーじゃん牌には数字以外に文字の書かれたものもあります(ト^トンナンシャ^{ナン}ーベ^{シャー}ーハクハツチュ^ンン)。
トランプには文字カードがありませんので、ちょっと強引ですが
10を東、Jを南、Qを西、Kを北とします。

親から順に反時計まわりに東・南・西と決まっています。これを自風といいます(自風のカードを3枚集めると一つの役になります)。
またゲームを始めて一巡するまでを東場といい、次の一巡を南場といい、次の一巡を西場といいます。このように一巡ごとに風が変わります。これを場風といいます(場風も自風と同じように3枚集めると一つの役になります)。

一般のマージャンとのちがいは

他人が捨てたカードを取り込むことをマージャンでは「鳴く」といいます。ポン・チーなどですね。これはありません。ただし他人の捨てたカードで上がること（ロン）はできます。

東・南・西まわしとします。これはまあ、どーでもいいけど。枚数が少ないため、できる役が限られます。また翻数も変わっています（後述）。

あがりは

マージャンにはカードの組み合わせにより、いろいろな上がりの形があり、それぞれの上がりによって^{はんすう}翻数が変わり、翻数によって点数が変わってきます。トランプマージャンでも同様です。以下にトランプマージャンの上がりの形と翻数を記します。

1 リーチ（1翻）

- ・自分があと1枚で上がるということ（テンパイといいます）を宣言することをリーチといいます。
- ・リーチをかけたら、場に1点出します。これをリーチ棒といい、上がれば戻ってきます。牛乳なんかのビン保証代みたいなもんですな。上がれなければ、次にリーチをかけて上がった人が取ってしまいます。
- ・リーチをかけるとカードの組み替えはできません。
- ・リーチで上がると裏ドラをめくることができます（翻が増えるかも）。

2 一発（一翻）

- ・リーチをかけて一巡以内に上がること。

3 ダブルリーチ（2翻）

- ・1枚目のカードを引いた段階でリーチをすること。

4 ツモ（1翻）

- ・自分の引いたカードで上がること。
- ・逆に言うと、何らかの役があるか、リーチをかけるかしていないと他人が捨てたカードでは上がれないということになりますな。

5 場風・自風（1翻）

- ・場の風や自分の風を3枚集めたとき。
- ・東場の東や南場の南などだぶっているときは2翻。

6 タンヤオ (1 翻)

- ・数字の2～8だけのカードで上がること。

7 ピンフ (1 翻)

- ・ペアが場風や自風ではなく、トリオは連続した数字の組み合わせであること、上がりの形がトリオの端のカードであることが条件です。

8 8 1 2 3 5 6 4 か 7 で上がり
 自風場風でない 連続トリオ 連続トリオの両端待ち

8 イイペイコウ (1 翻)

- ・同じ数字のトリオ (これを^{しゅんつ}順子と呼ぶ) が2つあること。

J J 3 4 5 3 5 4 で上がり

9 チャンタ (2 翻)

- ・1か9をからめてトリオやペアをつくること、
10 ～ K が入っていても良い。
- ・1ペア・2トリオすべてが、1・9に絡んでいるとジュンチャンタで3翻となる。

チャンタ 9 9 1 2 3 K K 9 K 待ち
 ジュンチャン 1 1 1 2 3 7 9 8 待ち

10 トイトイ (2 翻)

- ・トリオがそれぞれ同じ数字からできていること。

2 2 1 1 1 K K 2 K 待ち

11 ホンロウトウ (2 翻)

- ・1 9 10 ～ K のカードだけでトイトイの状態を作ること。
- ・トイトイの2翻とチャンタの2翻が必ずつくので6翻となる。

12 スートイツ (2 翻)

- ・これは変わった役で、ペアだけで作る役です。つまり4つのペアを作るわけですね。同じ数字4枚で2ペアとはなりませんので注意。

1 1 3 3 8 J J 8 待ち

13 チンイツ (2 翻)

- ・1 ～ 9 だけのカードで作る役。ホンマものの麻雀では難しいけどね。

14 ツイーソウ（4翻）

- ・ **10** ～ **K** だけで作る役。これもホンマものの麻雀では難しい。
- ・ トイトイの2翻がつくので6翻となる。

J J 10 10 10 K K J K 待ち

15 コクシムソウ（8翻）

- ・ **1** と **9** と **10** ～ **K** と **Joker** の中からペア1つと残りを1枚ずつそろえる役。

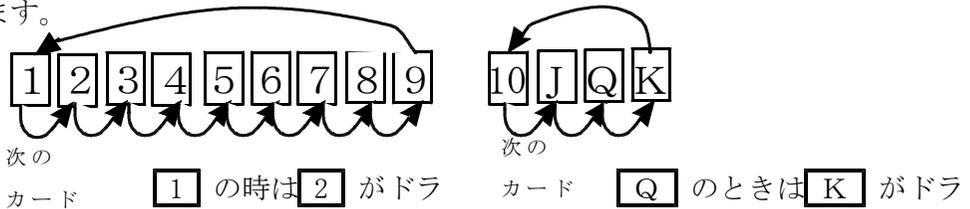
・ **1 1 10 J Q K Joker 9** 待ち

16 テンホウ（4翻）

- ・ 初めてのカードで上がりの形になった場合。
 - ・ 初めてのカードを引く前に他人の捨てたカードで上がりの形になる場合。
- 正確には1行目は、親の時テンホウ、子の時チーホーといい、
2行目は、レンホーといいます。まあどうでもよろしい。
実際のマージャンではまずありません。

他1 ドラ

王の山で1枚上を向いているのがドラ表示カードです。ドラはこのカードの次のカードとなります。ただし**1**～**9**のグループと**10**～**K**のグループに分かれています。



上がった時にドラカードを持っていると、1枚につき1翻上がります。
またリーチをかけて上がると、もう一枚ドラ表示カードをめくることができます。

他2 **Joker**

Joker が手の中にあるときは、自分の外に出して、王の山から1枚新たにカードを引きます。上がった時、**Joker** の枚数分、翻数が上がります。

ただし、コクシムソウを狙うときには、外に出さずに、手の中においておきます。
他人が出した**Joker** でのコクシムソウ完成は認めません。

点数は

翻数によって決まっています。

1 翻…… 1 点	6 ～ 7 翻…… 1 2 点
2 翻…… 2 点	8 ～ 10 翻…… 1 6 点
3 翻…… 4 点	11 ～ 13 翻…… 2 4 点
4 ・ 5 翻…… 8 点	1 4 翻…… 3 2 点

親が上がったときは2倍の得点になります。

(親のツモ上がり) 親が自力で上がった時は、子は親の得点の半分ずつを親に払います。つまり上の表の点数を二人の子がそれぞれ親に払うということです。

(親のロン上がり) 親が子の捨てたカードで上がった時は、その子が親の得点分、つまり上の表の2倍の点数を親に払います。マージャンは自分が上がることも大事ですが、他人を(特に親を)上げさせないことに神経を使うことがもっと大事です。

(子のツモ上がり) 子が自力で上がった時は、親は上の得点を、もう一人の子は上の得点の半分(切り上げ)を、上がった子に払います。

(子のロン上がり) 子が他人の捨てたカードで上がった時は、カードを捨てた人が上の得点を払います。

マージャン独特の難しいルール

マージャンでは自分の捨てた牌に責任を持つという意味で、フリテンという概念があります。くわしくは一緒にトランプマージャンをした人に聞いてみてください。初めての人は無理に覚えなくてもよろしい。

またこのあたりでは「完全先付けルール」を採用していることが多いです。これも詳しい人に聞いてみてください。まあホンマにマージャンやろうかなと思いついてからでも遅くはありません。

さいごに

以上、トランプマージャンでマージャンの基本的なルールを覚え、年末には、WOOで麻雀卓をたくさん囲めるようになろうではあ～りませんか。